

長崎県中山間ふるさと活性化基金事業

1. 平成28年度の実施状況報告について

中山間ふるさと・水と土保全対策事業(中山間基金)

【事業目的】

中山間地域において、農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、地域住民活動を推進する人材の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等の促進に対する支援を行う事業を実施する。

【事業内容】

調査研究事業	地域住民活動の活性化を通じた施設・農地機能の保全等の対策・工法等の調査研究等
研修事業	地域住民活動の活性化に関する推進指導及び助言等を行う人材の育成等
推進事業	運営委員会の設置、住民活動の推進指導、保全活動の啓発・普及等

【事業対象地域】

- ① 次の区域を全部または一部を含む市町村
過疎地域、振興山村地域、離島振興地域、半島振興地域、特定農山村地域
- ② ①の市町村と一体的に事業推進することが効果的な区域

【基金の造成】

- ① 造成期間：平成5～9年度
- ② 造成額：1,003,680千円
- ③ 負担割合：国 1/3、県 2/3

中山間ふるさと・水と土保全推進事業(棚田基金)

【事業目的】

棚田地域等において、農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図り、中山間地域の農業・農村の活性化に資するため、都市住民等の活動参加ネットワークの構築・運営、地域住民活動を推進する人材の育成、農地等の保全・利活用活動及び保全整備等の促進に対する支援を行う事業を実施する。

【事業内容】

保全ネットワーク推進事業	都市住民等への参加推進を図るための啓発・普及、情報提供等
保全活動推進事業	住民組織の保全活動推進のための、調査・研究、人材の育成、普及・啓発等
保全活動支援事業	棚田等の保全・利活用活動に対する支援等

【事業対象地域】

勾配1/20以上の農用地が当該地域の全農用地面積の1/2以上を占める地域

【基金の造成】

- ① 造成期間：平成10～12年度
- ② 造成額：600,000千円
- ③ 負担割合：国 1/3、県 2/3

長崎県中山間ふるさと活性化基金

長崎県中山間ふるさと活性化基金

1. 事業の目的

中山間地域が持つ国土保全等の多面的機能は、健全な農業生産活動を通じて農地や水路等が維持される中で発揮されてきた。しかし、近年では多くの地域で、過疎化、混住化、農家の高齢化に伴い、農地や施設の適切な管理が難しくなっている。

中山間ふるさと活性化基金は、このような課題に対し中山間地域における農地や施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、地域住民活動を推進する人材の育成、農地や施設の利活用及び保全整備等の促進に対する支援を目的とする。

2. 平成28年度の実施状況

(1) 県民への情報発信

- ・都市住民へ農業農村について関心を持ってもらうこと及び農村の地域住民に対しては地域の良さを再発見してもらうことを目的に、一般向け情報誌を県内各市町、振興局等の行政機関窓口、公立図書館及びJA等442箇所へ計1,768部を配布予定。
- ・農業農村が持つ大切な役割を多くの人に知ってもらい、関心を高めていただくために、長崎県土地改良事業団体連合会と共催で「長崎の農業・農村写真コンテスト」を開催し、入賞作品については、各種農業関係イベント会場で展示を行った。

(2) 集落保全活動モデル地区支援による地域住民等への普及・啓発

- ・農地や土地改良施設の保全に対する住民意識の向上及び保全活動の必要性等の普及・啓発のため、県内の中山間地域等計7地区の地域住民活動等へ支援を行った。(表-1)

表-1 H28年度集落保全活動モデル地区支援一覧

地区名	事業費予算 (千円)	主なイベント等の概要
大中尾棚田(長崎市)	139	「大中尾棚田火祭り」
木場棚田(川棚町)	240	「木場棚田だんだんまつり」ウォークラリー等
鬼木棚田(波佐見町)	300	「鬼木棚田まつり」案山子コンテスト等
土谷棚田(松浦市)	900	「土谷棚田火祭り」
春日地区(平戸市)	440	案内板設置
小田山地区(雲仙市)	250	「田んぼの学校」農業体験等
津波見地区(南島原市)	300	じゃが掘り体験モニターツアー等
合計7地区	2,569	

(3)長崎県ふるさと・水と土指導員の研修及び活動支援

- ・情報交換と知識の修得を図るため、長崎県ふるさと・水と土指導員(以下「指導員」という。)を全国研修会等へ派遣した。(表-2)

表-2 指導員の全国研修会への派遣状況(平成28年度)

研修名	期間	開催地	派遣人数
第22回全国棚田(千枚田)サミット	7/14~16	新潟県	7人
水田魚道設置指導者全国研修会	7/28~29	兵庫県	1人
生きもの調査指導者養成全国研修会	9/1~2	島根県	2人
棚田学会大会シンポジウム	9/2	東京都	1人
地方創生フォーラム	10/21	佐賀県	1人
第19回全国農業担い手サミット	11/10~11	岐阜県	1人
田園自然再生活動の集い	12/5	東京都	2人
第22回ふるさと水と土基金全国研修会	H29. 2/15~16	東京都	

- ・指導員の資質向上、情報交換等を図るため、県央振興局で12月22日に県内研修会を開催(指導員16名参加)。外部講師の講演や県内指導員の活動事例発表等を実施。
- ・指導員の活動に伴う万一の事故発生に備えるため、傷害保険及び賠償責任保険に継続加入。

(4)県内棚田サミット開催による棚田保全活動の情報共有化

- ・H14年度から「日本の棚田百選」県内認定6地区の持ち回りで「長崎県棚田保全代表者会議」を毎年開催しており、各地区棚田保全活動における情報共有の場となっている。
- ・H28年度は、大中尾棚田を擁する長崎市神浦地区において開催(参加者95名)。
- ・長崎県だんだん畑十選認定地区の南島原市津波見地区、東彼杵町坂本地区からも参加。
- ・次年度は県内で全国棚田(千枚田)サミットが開催されるため休会。

3. 指導員の認定状況

・指導員は、地域住民活動の活性化を図るため、土地改良施設や農地の利活用、都市住民との交流活動、普及・啓発活動などの地域住民活動に対して、指導・助言等を行う者で、市町の推薦に基づき県で認定している。

・H28年12月現在で、県下21市町のうち、11市町で20名を認定。(表-3)

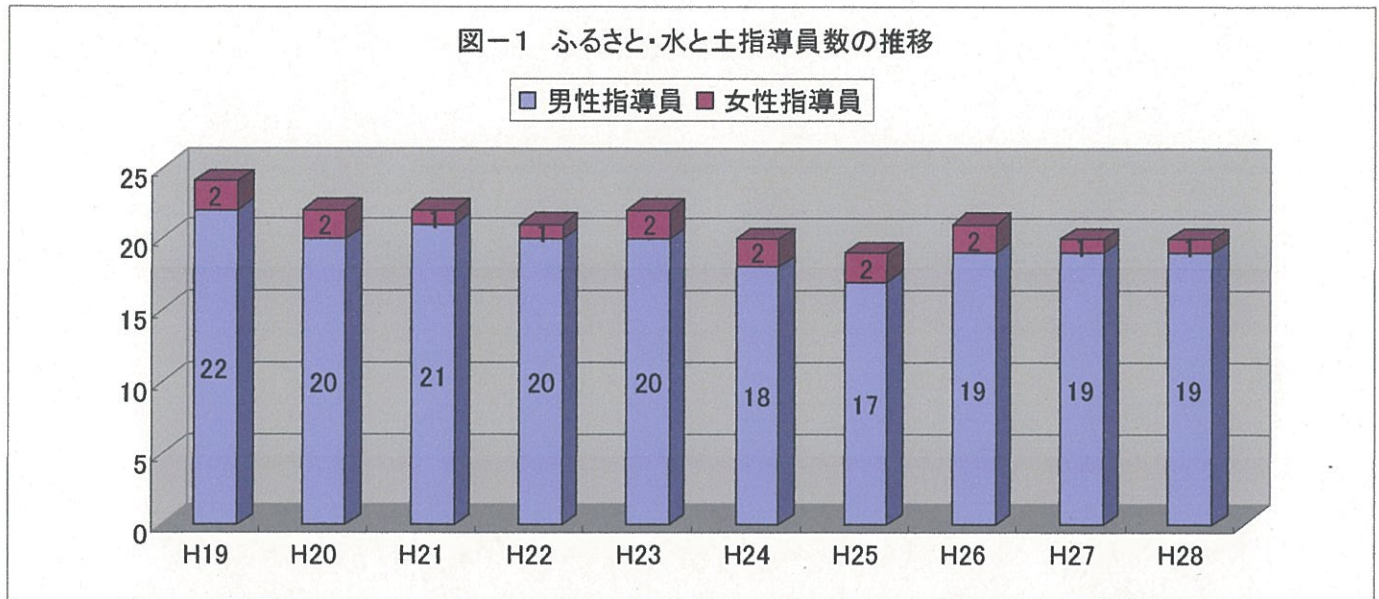
表-3 市町別ふるさと水と土指導員数(平成28年度)

市町名	指導員数	「日本の棚田百選」認定地区	「長崎県のだんだん畑十選」認定地区
長崎市	1	大中尾棚田	宮摺
佐世保市	1		勝負越
島原市			
諫早市	2		飯盛南部、野川内
大村市			
平戸市			
松浦市		土谷棚田	
対馬市	1		青海
壱岐市	1(1)		
五島市	2		上崎山
西海市	1		
雲仙市	3	清水棚田	椎木川、辺木・小竹木
南島原市	4	谷水棚田	津波見
長与町			木場、長与岡北
時津町			
東彼杵町			坂本
川棚町	2	日向の棚田	
波佐見町	2	鬼木棚田	
小値賀町			
佐々町			
新上五島町			
計	20(1)		

※ () は女性的人数で内数

・指導員の構成内訳は次のとおり。

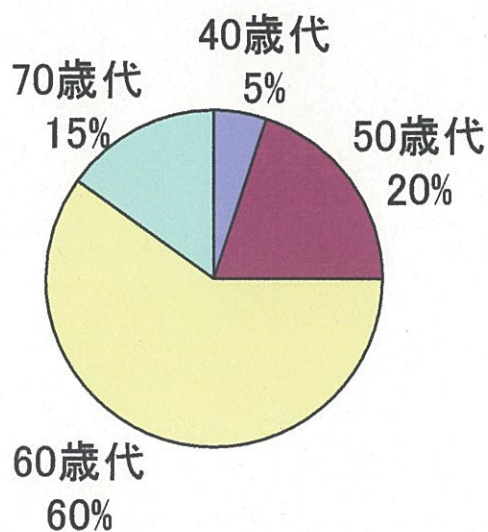
【男女比】 男性19名(95%)、女性1名(5%)である。(図-1)



【年齢構成】

40歳代 1名(5%)、50歳代 4名(20%)、60歳代12名(60%)、70歳代 3名(25%)
となっており、平均年齢は62歳で、最年少は43歳、最高齢は73歳である。(図-2)

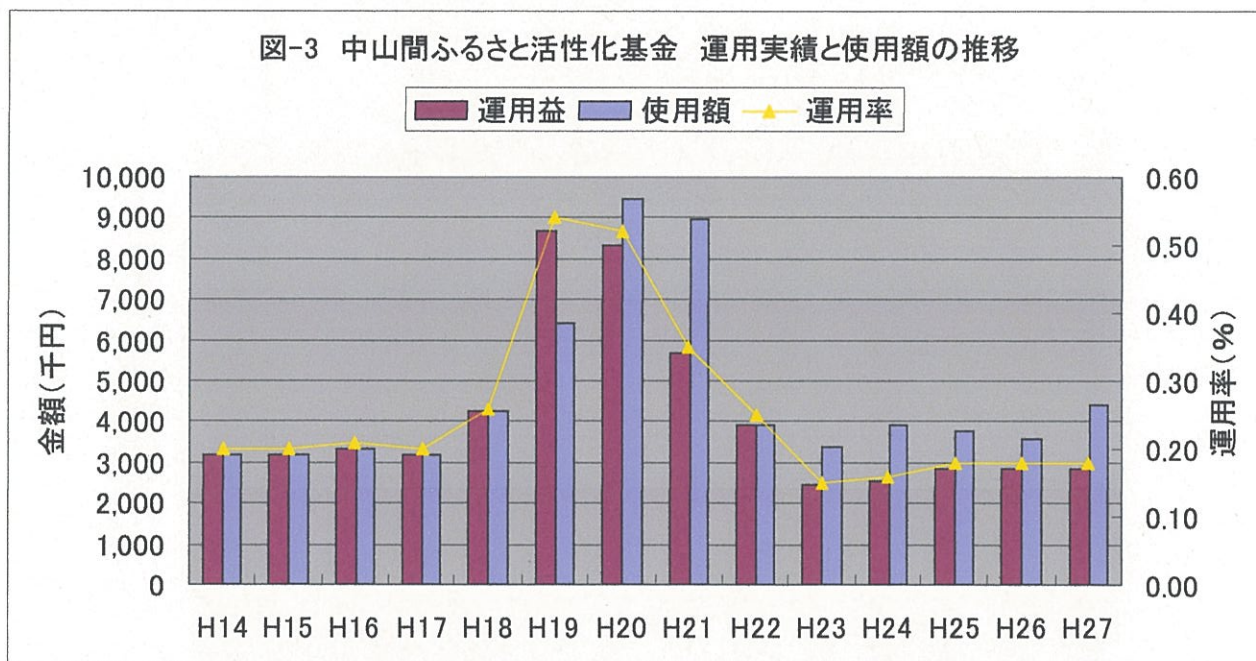
図-2 ふるさと水と土指導員の年齢構成(平成28年度)



4. 中山間ふるさと活性化基金の運用状況

(1) 運用実績と使用額の推移

- ・H15年度からH27年度における運用実績は、運用率0.15%～0.54%の低金利状況。27年度の運用率は0.18%。
- ・H20年度から基金元本を取り崩し、活動経費へ充当している。(図-3)
- ・基金の運用については、県会計課で一元運用管理。



※H27年度末現在の基金元本残高は、1,597,638 千円(約16億円)

※基金元本の取崩し額は、H20 年度 1,162 千円、H21 年度 3,265 千円、H23 年度 893 千円、H24 年度 1,346 千円、H25 年度 936 千円、H26 年度 688 千円、H27 年度 1,602 千円

※基金元本の取崩しは、低金利で運用益が少ない状況にあっても必要な事業が行えるよう、基金元本額の一定基準額まで認められている。

中山間ふるさと活性化基金事業の効果、課題、対策

効果

- ・基金事業を活用した指導員の資質向上、棚田まつり等地域活動の活性化支援等により、地域住民と都市住民間の交流の活発化につながっている。

課題

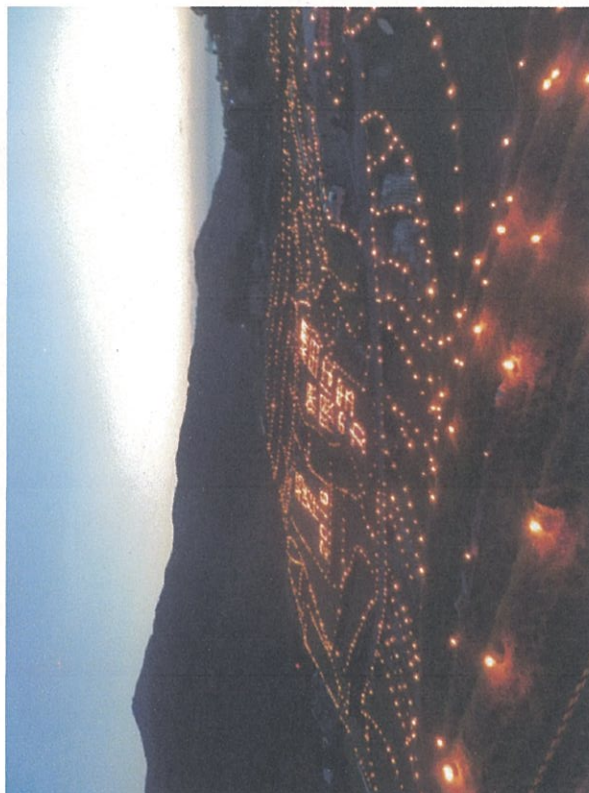
- ・中山間ふるさと活性化基金の使用額が、近年年間300万～500万円で推移しており、さらなる有効活用により、質、量ともに地域の活性化につなげる必要がある。
- ・モデル地区支援業務を実施しているが、地区数が少なく、また継続地区がほとんどであり、新たな地区の掘り起こしが進んでいない。

今後の推進方針

- ・平成29年度全国棚田（千枚田）サミットが長崎県波佐見町で開催されるため、波佐見町等と連携し大会の成功に努める。
- ・全国棚田百選、長崎県のだんだん畑十選地区を対象にパンフレット等を作成し情報発信の強化を図っていく。
- ・県内全地域において、ふるさと・水と土指導員の設置及びモデル支援事業への取組みについて働きかけを強化する。

集落保全活動モデル地区支援

大中尾棚田地区(長崎市)



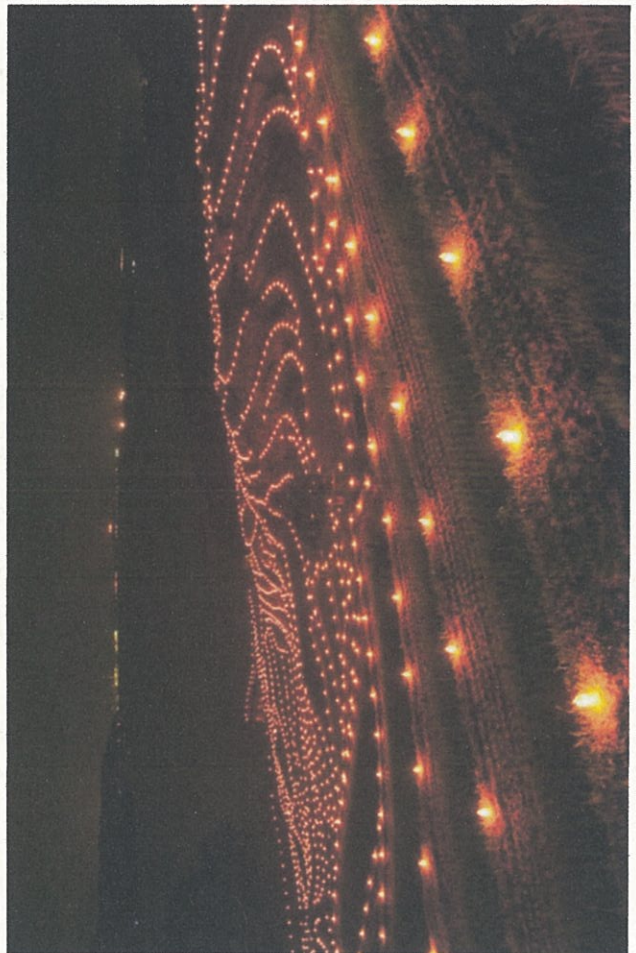
鬼木棚田地区(波佐見町)



日向棚田地区(川棚町)



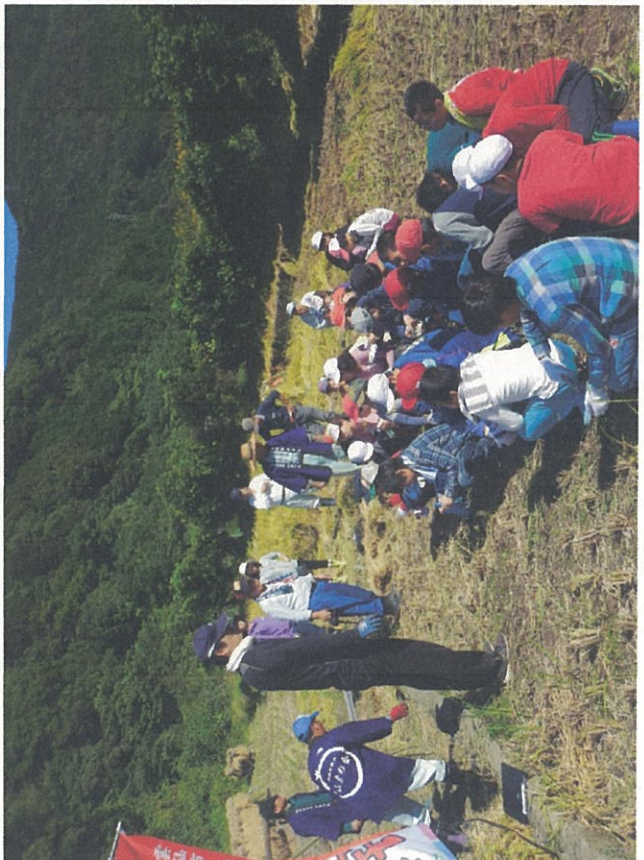
土谷棚田地区(松浦市)



土谷棚田地区(松浦市)



小田山地区(雲仙市)



津波見地区(南島原市)



「田んぼの学校」

きたの
雲仙市小浜町北野

小浜山彦の会

小田山は、雲仙温泉と小浜温泉の中間、金浜断層の谷あいの中山間地の小さな集落です。集落は、転出や自然減少により過疎化し、やがては限界集落になる宿命をたどっていました。集落を何とかしなければと「山彦の会」を20数年前、立ち上げ、地域の活性化へ取り組んできた。数年前から、小学生や大学生に農業体験をしていただくこと「田んぼの学校」を始める。特に、長崎大学環境科学部との取り組みは、農業体験だけでなく、集落の人々が学生と交流する中から、若者の発想を聞き、地域の再起、地域づくりを模索していました。

しかし、高齢化は進み、新たに、小浜山彦の会として、その意思を受け継ぎ、土と水に、親しみ、環境の保全の大切さを、子供のみならず大人の方たちにも、理解していただくよう実践している会です。



シンボルマーク



北野位置図



「田んぼの学校」こんなことも



小浜小5年生田植え
2008.6.13



稲刈り・掛け干し
2008.10.15



脱穀 2008.10.30



小浜小収穫祭 2008.12.12



田植え：小学生・長大生 2009.6.12



2009：2010年・北野の田んぼで稲作



小浜小：富津小児童稲刈り
2010.10.14



脱穀 2010.11.3

(2008年・小田山の田んぼがイノシシから荒される)

小 浜 山 彦 の 会 事 業 実 施 状 況

月 日	業 務 内 容	参 加 者	備 考
1月24日	27年度業務と28年度事業計画の確認	役員	
1月27日	ふるさと水と土の指導員県会議参加	宮崎	
3月17日	小浜小学校田んぼの学校開催についての打ち合わせ	役員、担任、校長、教頭	
4月13日	小浜山彦の会総会及び懇親会会員研修(島原菜園)	会員	
4月17日	たけのこ堀体験学習支援(職場)	小浜警察署員とその家族	
4月18日	たけのこ堀体験学習支援(保育園児)	あすなろ保育園児	
4月20日	たけのこ堀体験学習支援(保育園児)	惠燈保育園	
4月30日	田んぼの学校開催場所(稲作予定地)調査	役員、協力者	
5月9日	たけのこ堀反省会及び田植えの打ち合わせ	役員、協力者	
5月11日	小浜小学校田んぼの学校開催についての打ち合わせ	役員、校長、担任	
5月21日	いも苗植え打ち合わせ	役員	
6月3日	いも苗植え打ち合わせ	役員及び会員	
6月7日	いも畑打ち、畦上げ	役員及び会員	
6月9日	いも苗植え体験学習支援(保育園児)	惠燈保育園	
6月21日	小浜小学校5年生に対する講義(お米の出来るまで)	役員、校長、担任、生徒	
6月24日	田んぼ耕起	役員	
6月27日	田植え体験学習支援(小浜小5年生)	会員、校長、担任、生徒	
7月2日	田んぼ手入れ(除草剤散布)	役員	
7月13日	全国棚田サミットイン佐渡参加	吉岡、宮崎	
7月21日	いも再畦上げ	役員	
8月26日	田んぼ草取り	役員	
9月1日	生きもの調査指導員養成研修会参加	吉岡、宮崎	
9月21日	打ち合わせ会、懇親会	役員	
9月30日	体験学習支援(小浜小5年生)稲刈り、架干し打ち合わせ	会員、担任、	
10月23日	体験学習支援(小浜小5年生)稲刈り準備	会員、	
10月24日	体験学習支援(小浜小5年生)稲刈り、架け干し	会員、担任、生徒	
11月11日	体験学習支援(保育園児)いも掘り	会員、担任、	
11月13日	いも堀体験学習支援(一般・職場)	惠燈保育園	
11月21日	体験学習支援(浜小5年)脱穀・餅つき打ち合わせ	小浜警察署員とその家族	
12月	体験学習支援(浜小5年生)餅つき打ち合わせ	会員、担任、	
12月15日	体験学習支援(小浜小6年生)餅つき	会員、担任、生徒、父兄	
	実施事業の反省会等	会員	
29,1月	耕作放棄地の整地等	会員	

活動発表



木場地区住民参加による清掃活動



伝統芸能 『木場浮立』



木場川での生物調査

活動発表（木場棚田だんだんまつり）



活動発表（木場地区棚田保全協議会）



ワークショップ



先進事例調査



パンフレットに使用するキャラクター
棚田米パッケージ（案）